

2025年10月29日

産業別四半期見通し調査結果 (2025年10～12月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2025年7～9月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が8業種、「小雨(低調)」が3業種となった。

◇2025年10～12月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が8業種、「小雨(低調)」が3業種となった。方向感では、「横ばい」が11業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2025年 4～6月期現況	2025年 7～9月期現況	2025年 10～12月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
 薄日(順調)	1 業種	1 業種	1 業種
 曇り(普通)	8 業種	8 業種	8 業種
 小雨(低調)	3 業種	3 業種	3 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種

■10～12月期見通しのポイント

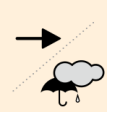
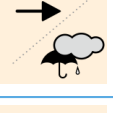
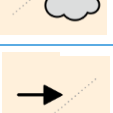
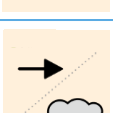
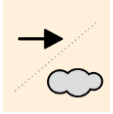
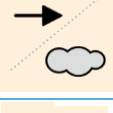
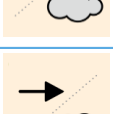
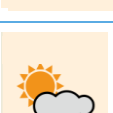
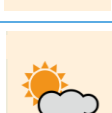
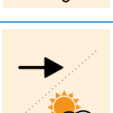
- 製造業、非製造業ともに天気マークに変化はない見通し

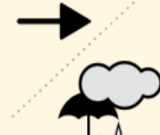
照会先
一般財団法人 長野経済研究所
調査部(担当: 桑井、須田)
TEL: 026-224-0501

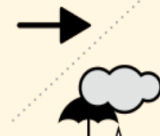


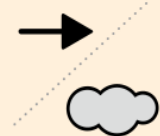
<産業別天気図一覧(12業種)>

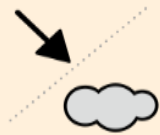
- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2025年9月中旬～10月上旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の112社

業種	前期 (25年4～6月期)	今期 (25年7～9月期)	来期 (25年10～12月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			

生産用機械	自動車関連やIT関連を中心に受注は低調を見込む
● 現況 	生産用機械の受注は総じて低調だった。自動車関連では、バッテリー式電気自動車(BEV)などの完成車需要の伸び悩みが続き、IT関連では、PC・スマートフォン向けや産業用向けを中心に半導体需要が低迷したことから、設備投資に慎重な姿勢がみられた。今後も米国の通商政策の影響が予想される中、投資への慎重姿勢が続き受注は低調となる見通し。
● 見通し 	• 工作機械の受注は、国内では自動車関連の部品メーカーを中心に投資抑制が続くとみられ、低調な見込み。海外では、米国向けは輸入関税の影響により減少が見込まれる一方、中国向けは、中国政府の設備更新補助もあり持ち直しが続くと思われる。 • 半導体製造装置の受注は、IT関連や産業用の半導体需要が回復せず低水準となる見通し。

電子部品・デバイス	IT・車載関連向けを中心に受注は低調な見込み
● 現況 	電子部品の受注は低調だった。PC・スマートフォンなどのIT関連向けは、一部に人工知能(AI)サーバー向けの部品需要がみられたものの、中国景気の停滞や中国メーカーとの競合激化を背景に総じて低調だった。車載用は、バッテリー式電気自動車(BEV)需要の伸び悩みや競合激化から低調だった。一般機械などの産業用は、設備投資の慎重化から受注は伸び悩んだ。今後も、産業用やIT関連を中心に受注は低調に推移する見通し。
● 見通し 	• IT関連やエアコン・冷蔵庫などの家電用は、中国や欧州など海外需要の弱さが続くほか、車載用も、中国メーカーとの競合激化やBEV需要の鈍化から弱い動きが続く見込み。 • 産業用は、米国の通商政策の影響等から設備投資関連を中心に低調な見通し。

自動車部品	アジア向けは低調なものの国内・北米向けは底堅い見通し
● 現況 	国内・北米の新車需要が堅調で、自動車部品の受注は総じて底堅かった。今後も国内・北米向けの受注は底堅い一方、アジア向けは中国メーカーとの競合激化などから低調な見込み。
● 見通し 	• 国内向けは、堅調な買い替え需要が見込まれる中、新型車の投入効果などを背景に底堅い見込み。北米向けは、米国の通商政策の影響が懸念されるものの、日系完成車メーカーの販売は堅調を維持しており、底堅い見通し。 • 中国向けは、現地メーカーとの競合激化を背景に日系完成車メーカーの販売が低迷しており、受注は低調な見通し。また、東南アジア向けも、中国メーカーとの競合激化から低調な見込み。

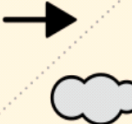
飲料製造	製品価格の引き上げにより、需要はやや弱含む見通し
● 現況 	飲料の需要期ながら、猛暑が続いたことで外出意欲が低下し、需要は伸び悩んだ。今後は、節約志向の高まりに加え、製造コスト増加分を製品価格に転嫁する動きが見込まれ、需要は弱含む見通し。
● 見通し 	• 果汁・野菜ジュースなどの清涼飲料は、天候不順による収穫量減で原材料価格が上昇し、製品価格の引き上げが見込まれることから、需要は鈍化する見通し。 • 清酒・ワインなどのアルコール飲料も、製造コストの増加分が製品価格に転嫁されることで、需要は弱含む見通し。特に清酒は、主食用米の価格上昇が酒造好適米の価格急騰につながり、製造コストが上昇する見込み。

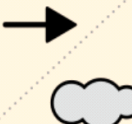
食料品製造	製造コスト上昇分の価格転嫁が進み、利益は改善する見通し
● 現況 	家庭用は、健康志向や素材にこだわった付加価値の高い製品を中心に需要が底堅かった。また、業務用も宿泊や外食を中心に需要は堅調だった。今後も安定した需要が見込まれる中、原材料や包装資材などのコスト上昇分の価格転嫁が進み、利益は改善する見通し。 ・味噌などの調味料は、原料米を中心とした製造コスト上昇分の価格転嫁が進むとみられ、利益は改善する見込み。
● 見通し  	・油揚げ・ソースなどは、外食・宿泊施設向けなどの業務用を中心に需要は底堅い見込み。 ・加工肉・乾燥食品などの需要は、健康志向や素材にこだわった製品を中心に、堅調に推移する見込み。

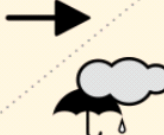
機械器具卸	建設・電設資材需要は堅調ながら、機械需要は低調が続くとみられる
● 現況 	機械需要は、自動車関連やIT関連を中心に設備投資を控える動きが続き、総じて低調だった。一方、建設・電設資材の需要は、民間の建築工事や施設改修などを中心に堅調だった。今後も、機械需要は低調とみられる一方、建設・電設資材の需要は堅調な見通し。 ・工作機械などの機械需要や制御機器などのFA機器の需要は、自動車関連を中心に投資の抑制が続き低調な見込み。切削用工具類や金属板などの消耗品受注は、製造業の生産活動の弱さが続くともみられ、低水準となる見通し。
● 見通し  	・建設・電設資材の取扱量は、建築工事が安定的に推移すると見込まれるほか、製造終了等に伴う蛍光灯からLED照明器具への切り替えが進むとみられ、堅調な見通し。

大型小売	販売価格の引き上げ等から売り上げは堅調な見通し
● 現況 	猛暑が続き、涼感商品などの季節商品の販売が堅調だったほか、食料品を中心とする販売価格の引き上げ等から、売り上げは増加した。ただ、物価高による消費者の節約志向がさらに強まり、買い上げ点数の減少がみられた。今後は、人件費や光熱費の増加などが利益を下押しするものの、販売価格への価格転嫁が進むことにより、売り上げは堅調な見通し。
● 見通し  	・百貨店は、厳しい残暑の影響で秋物の購買意欲が弱く、衣料品は伸び悩むとみられるが、食料品や化粧品・雑貨のほか、催事に伴う販売増が予想され、売り上げは堅調な見通し。 ・スーパーは、内食需要が底堅く推移するほか、販売価格の引き上げが続くと見込まれ、食料品を中心に売り上げは堅調な見通し。

自動車販売	安定した買い替え需要を背景に、販売は底堅い見込み
● 現況 	新車販売は、消費者の強い購入意欲が続いたものの、前年の人気車種発売の反動から、販売台数は前年を下回った。一方、中古車販売や輸入車販売は底堅く推移した。今後も人気車種を中心に買い替え需要が見込まれ、自動車販売は総じて堅調に推移する見通し。 ・新車販売は、スポーツ用多目的車(SUV)や燃費性能の高い車への買い替えが続き、堅調な推移を見込む。
● 見通し  	・中古車販売は、新車販売の増加に伴う下取り車が増加する中、比較的新しい年式の車を中心に底堅く推移する見通し。 ・輸入車販売は、人気車種のモデルチェンジにより、底堅く推移する見込み。

公共工事	長寿命化工事や公共施設の改修工事などにより工事量は堅調な見通し
● 現況 	河川の防災・減災工事や公共施設の改修工事などにより、工事量は堅調だった。今後も、三遠南信自動車道に関連した大型工事などに加え、河川管理施設の工事や橋梁の長寿命化工事などが見込まれ、工事量は引き続き堅調な見通し。
● 見通し 	● 国では、三遠南信自動車道の整備に関連した大型工事や、河川管理施設の工事などが見込まれ、工事量は底堅い見通し。 ● 県では、河川の防災・減災工事や砂防工事のほか、橋梁の長寿命化工事を中心に、工事量は堅調な見込み。 ● 市町村では、国民スポーツ大会関連施設の改修工事などで、安定した工事量を見込む。

民間工事	企業の建設投資を中心に底堅い工事量を見込む
● 現況 	民間企業の建設投資は、製造業の工場建設を中心に安定した工事量となった。新築住宅は、資材価格の高騰や省エネ基準変更などによる建築コスト上昇の影響に加え、住宅ローン金利の上昇傾向がみられることから受注が減少し、総じて着工戸数は低調に推移した。今後も建築コスト高は続く見通しだが、企業の建設投資を中心に底堅い工事量を見込む。
● 見通し 	● 民間企業の建設投資は、製造業の工場建設や倉庫・店舗の新增設などを中心に、安定した工事量となる見通し。 ● 住宅関連は、建築コスト上昇などの影響から持家を中心に需要は減少し、着工戸数は低調に推移する見込み。

貨物	工業製品の貨物量は弱含み、食品・雑貨類の荷動きも力強さを欠く見込み
● 現況 	工業製品は、中国など海外向けの出荷に弱さがあり、荷動きは低調だった。食品・雑貨類も物価高の影響で販売数量が伸びず、貨物量も振るわなかった。貨物需要が低調な中、人件費や車両費などコストのさらなる上昇分を十分に価格転嫁できず、厳しい収益環境が続いた。今後、工業製品の荷動きは中国需要の鈍さや米国による輸入関税引き上げの影響から弱含み、貨物量は総じて低調に推移する見通し。
● 見通し 	● 工業製品は、生産用機械や電子部品で海外向けを中心に鈍い荷動きが続くほか、自動車部品も需要が伸び悩み、関連部材や輸出品などの貨物量は低調な見込み。 ● 食品や雑貨類は、物価高の影響などを背景に荷動きは力強さを欠くとみられる。

観光	旅客・宿泊とも引き続き順調な利用を見込む
● 現況 	夏季の行楽シーズンは、国内外からの観光需要により旅客・宿泊とも利用は順調だった。また、ビジネス利用による宿泊施設利用も堅調だった。ただ、旅客では一部で人手不足による需要の取りこぼしがみられた。今後は、秋の行楽やウインタースポーツによる観光需要に加え、年末に向けて忘年会等の宴会需要の増加が見込まれる。
● 見通し 	● 旅客は、運転手不足による需要取りこぼしの懸念はあるが、秋の行楽やウインタースポーツを中心とした観光目的の利用が期待され、引き続き順調な利用を見込む。 ● 宿泊施設は、国内外からの観光客を中心に堅調な利用が見込まれるほか、各種コスト増加に対する価格転嫁が進むとみられ、収益は改善する見通し。